

養護老人ホーム入所継続要否判定審査票

年 月 日現在

施設名	ケース番号	入所年月日	年 月 日
氏名	年 月 日生(満 歳)		男・女
介護度認定結果(認定日) 年 月 日	・未申請・自立・要支援 ・要介護 1 2 3 4 5	身体障害者手帳 有(級)・無 交付年月日 年 月 日	障害名

1 身体及び日常生活動作の状況

(1) 身体状況		(2) 日常生活動作の状況(要領1)			
ア 身長	cm	ア 歩行	ア 自分で可	イ 一部介助	ウ 全介助
イ 体重	kg	イ 排泄	ア 自分で可	イ 一部介助	ウ 全介助
ウ 視力	ア 普通 イ 弱視 ウ 全盲	ウ 食事	ア 自分で可	イ 一部介助	ウ 全介助
エ 聴力	ア 普通 イ やや難聴 ウ 難聴	エ 入浴	ア 自分で可	イ 一部介助	ウ 全介助
オ 言葉	ア 普通 イ 少し不自由 ウ 不自由	オ 着脱衣	ア 自分で可	イ 一部介助	ウ 全介助
カ 褥瘡	ア 無 イ 有(程度)				
キ おむつ使用	ア 無 イ 有(昼夜・夜のみ)				

2 健康状態

--

3 精神の状況

(1) 性格	ア 朗らか オ 自分のことを気にしやすい ケ 頑固	イ 親しみやすい カ 人にとけこまない コ 短気	ウ 几帳面 サ 無口	エ こり性 ク わがまま シ 融通が利かない
(2) 対人関係	ア 拒否的である	イ 普通	ウ 協調的である	
(3) 精神状態	ア 正常 イ 精神障害あり (ア) 認知症(要領2(1)) ア 記憶障害 a 軽度 b 中度 c 重度 イ 失見当 a 軽度 b 中度 c 重度 (イ) 心気症状 (ウ) 不安 (エ) 焦燥 (オ) 抑うつ状態 (カ) 興奮 (キ) 幻覚 (ク) 妄想 (ケ) せん妄 (コ) 睡眠障害			
(4) 問題行動 (要領2(2))	ア 攻撃的行動 a 軽度 b 中度 c 重度 イ 自傷行為 a 軽度 b 中度 c 重度 ウ 火の扱い a 軽度 b 中度 c 重度 エ 徘徊 a 軽度 b 中度 c 重度		オ 不穏興奮 a 軽度 b 中度 c 重度 カ 不潔行為 a 軽度 b 中度 c 重度 キ 失禁 a 軽度 b 中度 c 重度	

4 その他特記事項(家族の状況(面会等)及び他の施設への待機状況ほか)

--

※福祉事務所使用欄

福祉事務所長	課長	課長補佐	係長	担当

判定の基準となる要領1及び2(1)(2)は、裏面に記載しています。

(要領1)

「日常生活動作の状況」欄は次の状態を参考として記入すること。

事項	ア 自分で可	イ 一部介助	ウ 全介助
ア 歩行	杖等を使用し、かつ、時間がかかっても自分で歩ける。	付添が手や肩を貸せば歩ける。	歩行不可能（寝たきり）
イ 排泄	自分で昼夜とも便所か、昼は便所、夜は簡易便器を使ってできる。	夜はおむつ等を使用するが、昼は介助があれば簡易便器でできる。	常時おむつを使用している。
ウ 食事	スプーン等を使用すれば自分で食事ができる。	スプーン等を使用し、一部介助すれば食事ができる。	臥床のままで食べさせなければ食事できない。
エ 入浴	自分で入浴でき、洗える。	自分で入浴できるが、浴槽の出入りや、身体を洗う時に介助を要する。	全てに介助が必要で、特殊浴槽を利用している。または、清拭を行っている。
オ 着脱衣	自分で着脱できる。	手を貸せば着脱できる。	全てに介助が必要である。

(要領2)

「3 精神の状況」の「(3) 精神状態」の「(ア) 認知症」欄及び「(4) 問題行動」欄は次の状態を参考として記入すること。

(1) 認知症

	a 軽度	b 中度	c 重度
ア 記憶障害	物忘れ、置き忘れが目立つ。	最近の出来事がわからない。	自分の名前が分からず、寸前のことも忘れる。
イ 失見当	異なった環境に置かれると一時的にどこにいるのかわからなくなる。	時々自分の部屋がどこにあるのかわからなくなることがある。	自分の部屋がわからない。

(2) 問題行動

	a 軽度	b 中度	c 重度
ア 攻撃的行為	攻撃的な言葉を使う。	乱暴なふるまいを行う。	他人に暴力をふるう。
イ 自傷行為	自分の衣服を裂く。	自分の身体を傷つける。	自殺を図る。
ウ 火の扱い	たまたに火の不始末をすることがある。	火の不始末が多い。	火を常にもてあそぶ。
エ 徘徊	時々居所内でうろうろとする。	居所内をあてもなく歩き回る。	屋外をあてもなく歩き回る。
オ 不穏興奮	興奮していることがある。	時々興奮し騒ぎたてる。	いつも興奮し騒ぐ。
カ 不潔行為	衣服等を汚す。	場所に関係なく放尿、排便をする。	糞尿をもてあそぶ。
キ 失禁	誘導すればトイレに行く。	時々失禁する。	常に失禁する。